

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話(521)8494

通算来館者 18万人突破

9月 月間来館者数 4,049名

月平均来館者数 3,575名

日平均来館者数 137名

通算来館者数 182,375名

主張

続発する放射能被害や核兵器増大に どう対処すべきか

専務理事 広田重道

米国のプルトニウム増産
去る九月二十七日付のニュー
ヨーク・タイムズによると、ア
メリカ政府は、核兵器に使うプ
ルトニウムの生産増大の方針を
固めたと言っています。

アメリカのプルトニウム増産
は、一九六〇年代の始め以来の
ことで、アメリカの核戦力強化
による核新戦略への現実的な一
歩として、見のがすことのでき
ない事実です。

世界の核軍拡競争はアメリカ
を先頭にして激化の一途である
ことは、これでも明らかです。

増大する核保有国
去る九月二十七日に東京でひら
かれた「核兵器禁止をねがう科
学者フォーラム」では、現実に
世界で核保有国としては旧来の
米、ソ、中、英、仏、印などの
諸国のはかに、イスラエル、南
ア連邦、パキスタン、エジプト、

台湾、ブラジル、リビアを想定
すべきだろうと言う注目すべき
発言が行われています。

また、先般ワルトハイム国連
事務総長は「核兵器の包括的研
究」で、世界の現在の核兵器の
数は四一五万個以上で、それは
広島型の百万個分に当ると警告
しています。驚くべきことです。

激化する放射能被害
米ABC放送は、去る九月一
九日、米アーカンソー州ダマス
カス近くのICBM地下サイロ
が爆発し、死者一名のほか放射
能汚染があったと報道し、アメ
リカのみか全世界を驚かせまし
た。

ところで、こうした事故は過
去五年間で一二五件もあったこ
とが明るみに出たのみか、有名
なラロック提督(米国防情報セ
ンター所長)は、米戦略爆撃機
の火災(九月一五日夜、米ノ

スダコタ州グランドフォークス
空軍基地の事故やダマスカスの
サイロ爆発のような事故は今後
もさらにふえるだろうという衝
動的な談話を行っています。

恐るべき放射性廃棄物
原発の無計画的な建設に伴い
当然、発生する放射性廃棄物の
処理に、アメリカ政府も日本政
府も頭を痛めています。その
結果は無謀な廃棄物の海洋投棄
が企てられています。

アメリカはマリアナ諸島をね
らい、日本政府は小笠原諸島、
パラオ島をねらって、何れも住
民の烈しい反対に遭っています。

この問題は単にその島民の被
害の問題ではなく、海洋汚染に
よる太平洋沿岸諸国民、とくに
四面を海に囲まれている日本人
にとって死活の問題です。

当面の急務は戦争防止
いま、われわれは核兵器によ
って生死の境に立たされています。
そこから抜け出すためには、夢
絶対に戦争を拒否すべきで、夢
の島アピールの要求はそれです。

来年は

展示館五周年・平和協会七周年

多彩な行事

- 去る九月十二日にひらかれた
39回理事会は、当面の行動方針
とともに、来年が展示館開設五
周年、平和協会発足七周年に当
るので、これを記念する諸行事
をくりひろげることを決定しま
した。
- 記念行事の予定
- ① 第五福竜丸保存運動史の発行
 - ② 新春記念風あげ大会(15/1)
 - ③ 三・一ビキニ記念集会(1/3)

- ④ 特別学習・懇談会(四月)
 - ⑤ 祝賀会(六月八日、松本楼)
 - ⑥ 同記念の講演と映画の夕べ
 - ⑦ 記念の俳句、短歌の会(八月)
 - ⑧ 記念の絵画展覧会(九月)
 - ⑨ 福竜丸だより記念号発行
 - ⑩ 五周年記念管理レポート発行
- 以上の如き諸行事のため特別
募金運動を行うこと。

各界の活発な行事

- 原水協創立25周年記念
9月19日夜、日本原水協は創
立25周年の祝賀会を神田・学士
会館で開催、二百名をこえる出
席者で盛会。
- 原爆写真展実行委結成
9月17日、市谷・私学会館で

原爆写真展をすすめる東京実行
委員会の結成総会がひらかれ約
三〇名が参加。

- 平和教育シンポジウム
第八回全国平和教育シンポジ
ウムは、九月二〇、二一日に広
島でひらかれ、似島の原爆遺跡
の保存その他を決議
- 金大中死刑反対集会
九月一七日夜、日比谷野外音

役員消息

。松山義夫副会長
腎臓病のため東京共済病院に
入院加療中。

。三宅泰雄会長
三宅博士の古稀に献げる英文
「同位体海洋化学」がゴールド
バード、堀部、猿橋の三氏の編
集によって内田老鶴圃から出版
された。(定価五千円)

編集後記

▽高く澄みわたる青空に赤とん
ぼが群れをなして飛び交う。緑
の芝の上をさわやかな風が渡つ
て、鉄の扉にカタコトと音を立
てる。十月に入ってから夢の
島の静かなたたずまい。

▽小学校の五・六年生か、二人
の少女が、あどけない顔を展示
されたパネルにふり向けてひそ
ひそと語っている。腫がきらき
らと美しいのが印象的で思わず
立止まってしまう。

▽二人のささやきは、原水爆の
恐ろしさ、戦争は嫌だという自
然の思いが口をついたのだろう
が、小柄のひとりが、それでも
戦争をやれと煽っているひとが
いるのが恐ろしいともした。

これには不意をつかれた思いだ。
▽こんな子供にまで見すかされ
る政治が、思想が大手をふって
いる風潮は、どうにかならない
ものなのだろうか。

▽秋風よ心あらば荒れ狂う人の
心に安らぎを吹きおくれ(H)

